

# THE SHINGASHI BASIN NEWS

## 新河岸川流域しんぶん



発行 ● 新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所  
住所 ● 埼玉県所沢市弥生町2996-6 山口ビル1F TEL/FAX 042-994-3212  
発行日 ● 2001年(平成13年) 10月31日

VOL. 14

### 秋晴れの空の下での活動 特集

P1-3 秋晴れの空の下！  
秋のイベント報告

#### 新河岸川流域情報

P4-5 新河岸川流域紀行  
歩く 見る 聞く

P6 市民の広場  
— 市民活動レポート —

『彼岸花のむれ咲く川辺を樹の名札つけウォーキング』  
『白子川ウォッチング 弥生橋～越後山橋』

P7 新河岸川流域川づくり連絡会報告

P8 イベントカレンダー  
柳瀬川水循環マスタープランについて



切絵 毛利将範

## 秋晴れの空の下！ 秋のイベント報告

市民有志企画

### 新河岸川を川くんだり

日時：9月23日(日) 午前10時～  
場所：川越市～志木市の新河岸川とその周辺

新河岸川の川下りが市民有志によって企画されました。

新河岸川には江戸時代から昭和6年まで船の交通が行き交い、川越の発展に重要な役割を果たしました。新河岸川という呼び名は川越城主松平信綱が川を改修し、新河岸場などの船着き場を開設した後にできたといわれます。水運が華やかな時代には、米、麦などの年貢米や材木が江戸に運ばれ、塩、油、魚、肥料などを舟り舟が積んで帰ったそうです。荷物の積みおろしが行われた河岸場付近には船問屋も建てられ栄えていたといわれます。

写真：新河岸川をゆっくり進む、舟の様子。志木市のいろは橋より撮影。

今回はかつて川越と江戸(東京都心付近)が舟で結ばれていたことを体感するために、実際に舟(カヌーとボート)を使い、新河岸川のできる限り上流から下ることのできる所まで行ってみようというものでした。現在の新河岸川は昔のようなの集まる華やいだ場所とはいえません。また河川改修が進み、都市型の河川に姿を変え、とても舟が通れるような状態ではない場所もあります。しかし、自然が残り、静かな過去の面影が感じ取れる場所もありました。



当日は初秋の青空が広がり、空気も澄んでいたので、新河岸川の土手からは富士山を望める場面もありました。川だけでなく、川を囲む環境を全身で感じ取りながら、川の流れや水を身近に感じられる一日となりました。

また、静かな川の流れ、鳥や植物のざわめきは、川がいろいろな意味で生きていることを伝えてくれました。そして、かつて舟唄が響き、活気に満ちた新河岸川を想起させる旅でした。



# 新河岸川流域 秋のイベント報告

みんなでつくる流域 みんなで支える流域

掲載されている活動については、  
新河岸川流域新所沢事務所まで  
お問い合わせ下さい。  
TEL/FAX 042-994-3212

## 市民有志企画 新河岸川を川くだり

### 開催記録

日時：平成13年 9月23日(日)  
午前10時～午後5時30分

場所：川越市～志木市の新河岸川とその周辺

参加者：市民有志 23名



新河岸川流域では、各支川ごとに活動が行われ、新河岸川本川での活動はこれまであまり行われていませんでした。そこで支川をつなぐ新河岸川本川を知るとともに、支川ごとに行われていた活動をつなぐ試みとして、新河岸川の川下りが市民有志によって企画されました。

魚の調査地点  
確認した魚をその前後に示した

### 新河岸川

モツゴ  
ヨシノボリ  
テナガエビ  
オイカワ  
コイ  
ドジョウ  
タモロコ

#### 坂下橋

#### 舟からみた新河岸川



写真：出発前の記念写真

水はきれいなようだが、水量が少ない。落着工もある。

昭和13年に作られた田谷堰を見学。新河岸川と赤間用水の歴史を知る



写真：新琵琶橋から上流をみた新河岸川。水も少なく植物が生い茂る。

#### 田谷橋

ヨシノボリ  
オイカワ  
コイ  
タモロコ

#### 新琵琶橋

滝ノ下終末処理場と横に児童公園川へはフェンスがあり入れない。

#### 自転車からみた新河岸川



写真：坂下橋から上流をみた新河岸川

午前10時30分 スタート

坂下橋と東明寺橋との間に、『禁漁区(觀賞魚放流地区)』看板

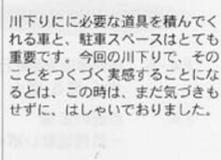


写真：田谷橋の下流にある木製の護岸

国道沿いを自転車で行くには勇氣が必要。川へ近づき難い。

遠くに富士山がきれいに見える。黄金色に輝いた田んぼと彼岸花がきれい。のどかな川岸風景が広がる。

#### 自動車からみた新河岸川



川下りにに必要な道具を積んでくれる車と、駐車スペースはとても重要です。今回の川下りに、そのことをつづく実感することになるとは、この時は、まだ気づきもせずに、はしゃいでおりました。



写真：田谷橋の上流側から見た田谷堰

国道254号と16号が交差し、川が存在に気付かないほど、道路が広く、交通量が多い。

水量が少ないなどの理由から、予定の場所からボートを下ろせないうえ、車が停められ、かつボートを下ろしやすしい場所を求めてさまようが…、結局、午前中は川へ近づけずじまい。



写真：旭橋下流の河原にある和船

#### 旭橋

モツゴ  
フナ  
コイ  
メダカ  
ヒメダカ



カワセミが右岸に2～4羽いた。

#### 旭橋でみんなそろって昼食

ここからは、川沿いの道を行く。時には、道なき道を行くことに…

### 新河岸川

#### 養老橋

ボラ  
キンブナ  
モツゴ  
コイ  
メダカ  
ゲンゴロウ  
ウシガエルのオタマジャクシ

#### 福岡橋

#### 伊佐島橋

#### 南畑橋

#### いろは橋

ウグイ  
ウキゴリ  
テナガエビ  
ニゴイ  
マハゼ  
ヌマチチブ

#### 富士下橋

(注意)  
図の橋と橋の間隔は、  
実際の距離の間隔と、  
異なります。

#### 舟からみた新河岸川

右岸側の河畔林が見事！  
都市の喧嘩から解放された  
静かな空間が続く。

福平のフナコゴにメダカがいっぱい！

川の中には、各所に大型ゴミ等の  
障害もあるが、それを除けば  
運航に支障はない。



写真：福平運動公園付近

右岸は土のままの自然護岸。

ゴイスガキやコサギの営巣があり、  
舟の進む1mごとに鳥が飛び立つ。

柳瀬川の合流地点で、  
水量の増加に驚かされる。

最後のボートが  
午後5時30分にゴール！

写真：最初のグループがゴール！



#### 自転車からみた新河岸川

養老橋の上から、舟組を応援。  
旧福田家(上福岡河岸記念館)  
がすこし見えた。

蓮光寺まへの川辺で舟組のお見送り。

川沿いの砂利道をひたすら前へ。  
草が生い茂り、進みづらい場所  
もある。土手が高く、川や舟も  
見にくい。

砂川堰の合流地点を確認。  
サイクリングロードスタート

富士見江川と新河岸川の合流点  
には、釣り人が多い。

写真：新河岸川と富士見江川の合流



写真：いろは橋から上流をみた新河岸川



#### 自動車からみた新河岸川

養老橋を渡るが、車を止めること  
はできず…

なかなか新河岸川に近付けない  
ため、舟組との距離も調整困難。  
自転車組の携帯電話での連絡と  
地図を頼りに、舟組をキャッチ！



写真：和船が置かれているお宅

いろは橋下流の河原では、  
ゴールを祝う盛大な祝賀会！  
何はともあれ、無事に終わら  
れて、本当によかった。

### 情報収集のお願い

新河岸川のむかしを知る資料やお  
話を市民で集めています。  
新河岸川の舟運についてのお話を  
知っておられる方、和船をお持ち  
の方など、新河岸川の歴史に関す  
る情報や資料をお持ちの方は、  
ぜひ、その情報を新所沢事務所へ  
お寄せ下さい。お願い致します。

### 調査レポート

#### 水質調査

	時刻	水温	COD	NO <sub>3</sub> -N	EC
坂下橋	10:25	17.2	0	0.02	194
田谷橋	11:30	18.6	2	0.02	
旭橋下流		19.8	0		
富士下橋	16:30	21.9	4	0.1	

#### 確認された鳥

- |            |                 |                  |
|------------|-----------------|------------------|
| 1 カワセミ     | 10 スズメ          | 10 ヒメダカ          |
| 2 ゴイスガ     | 11 カワラヒワ        | 11 ゲンゴロウブナ       |
| 3 カルガモ     | 12 カワズ          | 12 ウシガエルのオタマジャクシ |
| 4 コガモ(2)   | 13 モズ           | 13 ウグイ           |
| 5 カイツブリ(1) | 14 ハシブトガラス      | 14 ウキゴリ          |
| 6 オオタカ(1)  | 15 ハシボソガラス      | 15 ニゴイ           |
| 7 ツバメ      | 16 コサギ          | 16 マハゼ           |
| 8 オオヨシキリ   | 17 ハクセキレイ       | 17 ヌマチチブ         |
| 9 コチドリ     | ( ) 内の数字は確認できた数 | 18 ボラ            |

#### 確認された魚

- モツゴ
- ヨシノボリ
- テナガエビ
- オイカワ
- コイ
- ドジョウ
- タモロコ
- フナ
- メダカ
- ヒメダカ
- ゲンゴロウブナ
- ウシガエルのオタマジャクシ
- ウグイ
- ウキゴリ
- ニゴイ
- マハゼ
- ヌマチチブ
- ボラ

### 新河岸川をくだって…

川と一言でいっても、川へ近づく  
術によって、その見え方がまったく  
異なることがよく分かりました。ま  
た、新河岸川が可愛がられている地  
域と、忘れ去られている地域の差も  
よく分かりました。

川の流れが繋がっているのは確  
かだと分かりました。しかし、それ  
に依る様々な環境は、残念ながら  
つながっていませんでした。  
本来の意味で新河岸川流域をつな  
げる作業は始まったばかりですが、  
いつか必ずつながります。みんなが  
運れば、“けもの道”のように道が  
できるはずですよ。





### 新河岸川流域 市民の広場 -市民の活動レポート-

#### 彼岸花のむれ咲く川辺を樹の名札つけウォーキング

日時：9月22日(土) 主催 不老川流域川づくり市民の会

25cmほどの大きな亀の発見から始まり、自然護岸の土と草の緑におおわれた水際に、メダカ・クチボソ・フナ・カワエビ・アカガエル・ザリガニそして、むっくり太ったドジョウなど、バケツいっぱい生き物たちがと出会った今回は、驚きと喜びいっぱいのウォーキングとなりました。また、川沿いには、ヒガンバナ・キツネノマゴ・ツルボ・ゲンショウコなどの花が咲き、水と緑と生きものたちそして、人との出会いを楽しみました。



写真：樹への名付け作業中



写真：魚とりの様子。たくさんの魚に出会い、喜びと驚きがいっぱい！

前号で「白子川と流域の水環境を良くする会」の名称が間違っておりました。訂正して、お詫び申し上げます。

#### 第3回 白子川ウォッチング 大泉氷川橋～八坂歩道橋

日時：9月24日(月・祝) 主催 白子川と流域の水環境を良くする会

##### コース

- ① 比呂運動公園入口
- ② あかまつ公園緑地→もみじ山憩いの森→中里公園
- ③ 八坂神社の森・中里富士
- ④ 清水山憩いの森・湧水→
- ⑤ 福荷山憩いの森・湧水→八坂児童公園
- ⑥ 中里幼稚園・湧水
- ⑦ 越後山公園
- ⑧ 八坂小学校

第3回白子川ウォッチングが行われました。練馬区には白子川に沿った緑地が憩いの森として保全されており、川と緑地、とくに崖線との関係がよく感じ取れる環境が残っています。また湧水の多さから、かつて白子川周辺には水田や畑地が多く、その豊かな湧水が農業に利用されていたことが容易に想像できました。しかし、現在の白子川はコンクリートで覆われているため、緑地から流れ出た湧水が川を流れているという印象が薄いことは、残念なことです。

##### ① 比呂橋周辺

比呂橋上流調整池は2万2千㎡あり、びくに公園多目的運動公園になっています。また、比呂下流調整池の工事も進められています。この周辺には東京外かく環状道路が通り、大きな道路が立体的に交差している環境で、深く掘られコンクリートで固められた白子川はゆっくりと流れています。



写真：清水山憩いの森から白子川へ流れる様子を見学

##### ② あかまつ公園緑地

全業工業(製薬会社)の湧水を引込んだ池があります。この周辺は遺跡(愛宕下遺跡、八ヶ戸遺跡)もあり、昔から水に恵まれていたことが伺えます。また、荏茂助水車もあり、昭和初期までは水田や畑作地が広がっていたそうです。

##### ③ 八坂神社

周辺が見渡せる富士塚(高さ8~12m)があります。明治期には一面の水田地が見渡せたそうです。大きなカヤの木があり、たくさんの実をつけていました。

##### ④ 清水山憩いの森

湧水が流れ出ており、その水は白子川に注がれています。それまで静かな白子川が続いていたため、川へ流れ落ちる水音が印象的でした。清水山憩いの森は緑豊かな公園として保存されており、カタクリの群生も見られ、湧水の池にはカワニナもいたそうです。かつては見留平水車も架けられていました。

##### ⑤ 福荷山憩いの森

練馬区にある「憩いの森」の全体面積の約4分の1が、この福荷山憩いの森で、豊かな自然が残っています。そこからの湧水量は一日に約ドラム缶250杯分あるそうです。また、東西が植樹林と雑木林に分かれており、どちらが貯水地として選んでいるかが確かめられる貴重な場所でもありです。武蔵野の面影を残すこの地は「豊楽園」と呼ばれ人気地となっていました。

##### ⑥ 中里幼稚園

中里幼稚園には、白子川北側斜面から流れ出す湧水を利用したプールがあります。また、その近くにある八坂児童遊園にも湧水の池がつくられています。当日は残念ながら湧水がなく、確認することはできませんでした。

##### まとめ

八坂小学校の会議室をお借りして、まとめを行いました。この区間の良い所、問題点、提案を出し合いました。

#### 「里川しんぶん」掲載情報を大募集します!

みなさまからの各流域や地域での活動報告等を募集しています。身近な情報などをさがし、お手紙、FAXまたはEメールで下記までお寄せ下さい。お待ちしております。  
〒359-0043 所沢市弥生町2996-61F  
新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所  
TEL/FAX 042-994-3212  
E-mail: singas@vesta.ocn.ne.jp

## 新河岸川流域川づくり連絡会 報告

平成13年度 第5回～第6回

#### 新河岸川流域川づくり連絡会とは?

国土交通省荒川下流工事事務所と市民の方々の情報交換の場として定期的に開催しています。参加を希望される方や、詳しく内容につきましては、荒川下流工事事務所または新所沢事務所へお問い合わせ下さい。

(開催場所) 新所沢事務所 本紙P8参照  
(お問合せ) 新所沢事務所 または、  
新河岸川流域川づくり連絡会事務局  
国土交通省 荒川下流工事事務所 調査課  
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346

#### 第5回 平成13年 8月20日

##### 新河岸川流域フォーラムについて

前回の川づくり連絡会で寄せられた意見を集約し、事務局で作成した新河岸川流域フォーラムの企画提案書をもとに話し合いを行いました。

##### (1) テーマについて

河川管理者である都・県などの関係者との対話ができているという現在の状況を改善できるように、「住民と行政が協働できる川づくり」などとした方がよいのではないか。

##### (2) パネルディスカッションについて

各流域で設けるブースについては午前中だけではなく、1日を通して利用してもらえるようにしてはどうか。

#### 第6回 平成13年 10月3日

##### (1) フォーラム開催日について

荒川下流工事事務所より、新河岸川流域フォーラムを、厳冬期の2月に開催するのではなく、水ぬるむ来年度の4月～5月に開催することを提言する。

① 連絡会で開催日を2月に決定した経緯や、年度が変わることに関する問題もあるため、開催日を変更するのであれば、連絡会の構成メンバーに確認してほしい。

② 荒川下流工事事務所が日程を決定するのであれば、連絡会で討議の意義がないのではないか。

③ 今回の連絡会で開催日の変更を決定するのではなく、欠席者した他の構成メンバーの意見を聞いて決定する必要がある。

④ 2月は寒い時期であり、春の暖かい時期に変更となることは良いと思う。黒目川の現場で、川と触れ合うには春にフォーラムを開催した方が良さだろう。

また、新河岸川の5支川だけでなく、他の市民団体にも参加してもらえようような場を設ければより多くの人々に関心をもって貰えるのではないかと。

・フォーラムの中で、柳瀬川水循環マスタープランの内容を発表できる場を設けることも考えられる。  
・コーディネーターには新たな話題を提供してもらえよう方、また行政関係者に積極的に参加してもらえよう方々に依頼するなど、現在の候補以外にも検討が必要がある。

##### (3) フィールドワークについて

・フィールドワークは2つのグループに分けて行うことを提案しているが、

##### (5) 現在、黒目川で改修工事が着工しようとしている。

また、黒目川を総合学習の場として活用しようとしており、学校側の意識も高まっている。

##### (2) フォーラムの企画内容について

① 開催日の変更に伴い、当然フォーラムの内容を再検討する必要がある。これまでは、2月に開催することを前提していたが、春に変更するならば水の中に入ることも出来るため、制約条件等が変わるので内容を詰め直す必要がある。

② 内容については、開催日が決定してからとすべきである。開催日を変更することについて、構成メンバー全員の意見を聞くことを優先すべきである。

参加者が共通認識を持てるように、いくつかのグループに分けて河川視察と歴史探訪の両方に参加できるようにしたらどうか。

##### (4) フォーラムの準備会について

・今回のフォーラムの開催は朝霞市ということもあり、準備会などを含めたフォーラムの話し合いの中には朝霞市の担当者にも加わってもらわなければならないのではないか。  
・フォーラム開催前に市民と行政の間で、参加するにあたっての共通認識を持てるような場(準備会、勉強会など)を設けてもらいたい。そうすることで、住民と行政の対話をより日常化していきたい。

##### (3) 学集会の企画内容について

① フォーラムの企画内容をふまえた学習会で、フォーラムの内容を変更する可能性があるならば、学習会のテーマ等を決定することも避けてはならない。

② 学習会の企画内容としては良いと思う。烏谷さんに来てもらうことは良いのではないかと。

③ フォーラム開催の事前に、学集会で自治体の参加者に関心をもってもらう機会を設けることは良い事だと思う。

④ 学習会のテーマとして、改修計画が変更する余地があるため具体的な方策の検討や、住民参加の可能性を加えたい。

第7回以降の日程は未定ですので、事務局または新所沢事務所へお問い合わせ下さい。

# Information

## イベントカレンダー

### 川とくらし・環境まちづくり講座

- ① 11月8日(木) くらしと川・今昔物語
  - ② 11月15日(木) 生き物たちと川
  - ③ 11月22日(木) 不老川リバーサイドウォッチング
  - ④ 11月29日(木) 川を活かそう 不老川再生プラン
- 時間: ①②④ 13:30~16:30 ③10:00~16:00  
 場所: 入間公民館と現地(全て)  
 主催: 不老川流域川づくり市民の会  
 申込み: 丸橋 042-959-3831 (お早めにお申し込み下さい)

### 白子川源流まつり

- 日時: 11月18日(日) 正午12時30分~15時30分(雨天中止)  
 場所: 井頭公園  
 主催: 「白子川源流まつり」実行委員会  
 問合せ: 白子川源流・水辺の会  
 TEL 03-3924-9181(本田) / 03-3923-8430(菅沢)

### 身近な川の一斉調査 報告会

- 日時: 11月24日(土) 午後1時~(未定)  
 場所: 朝霞市産業文化センター  
 内容: 調査結果の発表だけでなく、講演や楽しい発表も企画中です。詳細は報告会を乞うご期待!  
 問合せ: 事務局 藤井宅 TEL 048-391-2365

### お話と写真でつづる「所沢の自然とくらし」

- 日時: 11月24日(土) 午後7時~  
 講師: 大館勝治先生(埼玉大学講師)  
 場所: 小手指公民館分館  
 参加費: 100円(資料代)  
 主催: 小手指の森に親しむ会 共催: 砂川流域ネットワーク  
 問合せ: TEL 042-949-0545(木村方)

### イベントに関するお問い合わせは

新河岸川流域 新所沢事務所 TEL/FAX 042-994-3212  
 変更も考えられますので、事前にお問い合わせ下さい。  
 新河岸川流域でのイベント情報を募集しています。  
 フィールドワークや学習会などの情報もご連絡下さい。

### 環境市民団体交流会

- 日時: 11月10日(土) 午後2時~午後4時  
 講演: 市民による環境調査 くぬぎ山の現状  
 講師: 関口 鉄夫(信州大学環境学科)  
 場所: さいたまコープ・コーププラザ2階大会議室  
 問合せ: TEL/FAX 042-943-6285(平林) 042-959-3831(丸橋)

### 第3回 里山(紅葉) ウォーク

- 日時: 11月23日(金・祝) 午前10時~午後3時(雨天順延)  
 集合: 東村山駅改札口9時 八高線緑根ヶ崎改札口10:05  
 参加費: 200円(交通費 800円)  
 問合せ: 北川かっぱの会 TEL 042-391-2365  
 E-mail: kapa@beam.ocn.ne.jp  
 URL: <http://www6.ocn.ne.jp/~kapa/>

### 第5回 白子川ウォッチング 東鳩橋~落合橋(河口)

- 日時: 11月23日(金・祝) 午前9時30分~午後3時  
 集合: 東鳩橋(東上線成増駅下車徒歩10分)  
 参加費: 100円  
 持ち物: 弁当 飲み物 筆記用具 暖かい服装で!  
 申込み: 白子川と流域の水環境を良くする会  
 事務局(堀) TEL/FAX 048-462-3183

### 里山の自然・文化・産業を生かす地域づくり

- 日時: 11月25日(日) 午前10時30分~午後3時30分  
 会場: 東京経済大学(5号館-201教室)  
 参加費: 無料  
 主催: 財団法人トトロのふるさと財団  
 問合せ: TEL 042-947-6047 FAX 042-947-6057  
 E-mail: office@totoro.or.jp  
 URL: <http://www.totoro.or.jp>

## 行政から

### 柳瀬川流域水循環マスタープランについて

柳瀬川流域の水循環をよくしていくために、「柳瀬川水循環マスタープラン」を策定しています。  
 水循環マスタープランは、流域での水の諸問題を解決し、よりよい方向へとすることによって「望ましい流域像」を実現していくことを目的としています。これまで、学識者、市民、行政からなる検討会や、市民からなる市民懇談会や、シンポジウム等を開催し、「望ましい流域像」について議論してきました。  
 柳瀬川流域水循環マスタープランについての検討会や市民懇談会等の内容は以下のホームページで参照できます。ぜひお立ち寄り下さい。

<http://www.ara.or.jp/arage/yanase/index.html>

## 事務局から

秋も深まり朝夕は肌寒くなりましたが、体を動かす外での活動に最適な季節となりました。新河岸川での川下りや、各流域での活動もますます活気あるものとなってまいりました。また、新河岸川流域でさまざま魚が増えてきているという情報も入ってきております。新河岸川流域は、日々変化し続けていることを実感します。今後も変わり続ける新河岸川流域の情報をみなさまにお伝えしたいと思っております。

